

第1回小平市立学校給食共同調理場運営委員会議事要録

1 日 時 平成27年6月22日(月) 15:30～

2 会 場 学校給食センター会議室

3 出席状況 出席者11名 欠席者2名 事務局 3名

4 傍聴者 無し

5 次 第

(1) 委嘱状伝達

(2) 教育長挨拶

(3) 自己紹介

(4) 委員長・副委員長紹介 挨拶

(5) 議題 協議事項

①協議事項

②報告事項

- ・平成26年度中学校給食費会計報告
- ・平成27年度中学校給食実施計画について
- ・小平市立小・中学校の給食で使用する食材の放射性物質検査結果について

③その他

学校給食センター施設について

会 議 要 録

所長	<p>皆さん、こんにちは。本日はご多用な中ご出席をいただきありがとうございます。</p> <p>第1回小平市立学校給食共同調理場運営委員会開催にあたりまして、委嘱状の伝達を行ないたいと思います。</p> <p>(教育長より委嘱状伝達)</p> <p>引き続き、教育長よりご挨拶を申し上げます。</p> <hr/>
教育長	<p>本日は、お忙しい中、小平市立学校給食共同調理場運営委員会にご出席いただきありがとうございます。また、この度は運営委員をお引き受けいただき重ねてお礼を申し上げます。教育委員会では給食の調理や食材の安全性はもとより望ましい食育の習慣または食文化への理解に努めております。また、食物アレルギー対策といたしましては昨年度に策定いたしました小・中学校における食物アレルギー対応方針の実践の徹底を行っているところでございます。その他に毎年、給食関係者への各種の研修会の実施等においてアレルギー事故の防止に努めているところでございます。</p> <p>さらに今年1月から各学校と公立昭和病院を結ぶホットラインを開設いたしました。このホットラインの開設には大場委員にご尽力いただきました。今年は現在までのところで10件程の相談があったところでございます。大変、効果的に機能しているところでございます。</p> <p>また、この学校給食センターですが昭和57年5月に開業以来、共同調理場運営委員会を設置いたしまして委員の皆様から貴重なご意見をいただきながら中学校給食の充実と学校給食センターの健全な運営を図っているところでございます。つきましては本年度につきましても委員の皆様のご協力をお願い申し上げますが挨拶とさせていただきます。</p> <hr/>
所長	<p>本日は、第一回目の運営委員会でございますので、皆様から自己紹介をお願いしたいと存じます。</p> <p>(自 己 紹 介)</p> <p>ありがとうございました。</p>

	<p>続きまして、学校給食共同調理場運営委員会の委員長と副委員長を決めさせていただきたいと存じます。</p> <p>小平市立学校給食共同調理場設置条例施行規則第5条により、運営委員会に委員長及び副委員長をそれぞれ1名置くこととされております。例年、中学校校長会会長に委員長をお願いいたしております。</p> <p>従いまして、小平第二中学校の星野校長を委員長に、小平第五中学校の高山校長を副委員長をお願いしたいと思いますがいかがでしょうか。</p> <p>(全員了承)</p> <p>それでは、委員長からご挨拶をいただきたいと思います。委員長、よろしくお願いいたします。</p>
委員長	<p>3年前に小平第二中学校に赴任いたしました校長の星野と申します。</p> <p>赴任して最初に驚いたのは給食がおいしいことです。場所によっては色合いが少ない給食が提供されることもありました。小平市の給食は色合いも良く毎日食べても飽きない給食だと思っています。そのおいしい給食の運営委員に関われることは大変うれしく思っております。しかし、慣れないことではございますので力が及ばない面があるかもしれませんが、皆様方のお力をお借りして1年間頑張っていきたいと思っておりますのでよろしくお願い致します。</p>
所長	<p>委員長、ご挨拶ありがとうございました。</p> <p>続きまして、副委員長よりご挨拶をお願いいたします。</p>
副委員長	<p>小平第五中学校の校長の高山です。私も委員長と同様に3年前に赴任いたしました。日頃より充実した給食をありがとうございます。私にも小学生と中学生の子どもがおります。家庭での会話で学校のこと聞くときにはまず、今日の給食は何だったの聞くことが多いです。授業の内容を聞くこと口が重い子どもたちも給食の話になるとおかずのことなどを話してくれます。それだけ小中学生には給食とは大きいものだと</p>

	<p>わかります。これから食育がクローズアップされる時代となっています。最近の子どもたちは偏った食事を摂っているように感じています。私も家庭では五味五色を意識した食事作りを心掛けております。</p> <p>ある調査では塩味を感じるのに、塩だけで味付けした場合と比較して味噌だと4分の1、さらに出汁を入れると5分の1の塩分量で済むといった調査結果が出ております。それほど発酵調味料が効果的なのにあまり食べられていない印象があります。</p> <p>本当に学校給食の果たす役割は健康において大きいものだと感じております。</p> <p>お役に立てるかわかりませんが、小中学生の子どもを持つ親の視点からも協力していければと思います。</p> <hr/>
所長	<p>さて、議事に入ります前に、学校給食共同調理場運営委員会の役割等につきまして、栄養士からパワーポイントを使いまして説明をさせていただきます。</p> <p>(栄養士による説明)</p> <hr/>
所長	<p>それでは、委員会の進行を委員長にお願いしたいと思います。</p> <hr/>
委員長	<p>議事を進めてまいりたいと思います。次第では、6の議題となります。</p> <p>事務局に伺います。(1)の協議事項はありますか</p> <hr/>
所長	<p>本日は、特にございません。</p> <hr/>
委員長	<p>協議事項は無いということなので、(2)の報告事項にいきたいと思います。事務局から①「平成26年度中学校給食費会計報告」をお願いします。</p> <hr/>
所長	<p>平成26年度中学校給食費会計について説明をいたします。</p> <p>まず、給食費の監査でございますが、6月1日に中学校校長会会長、それから、中学校保護者代表2名の監査委員に、収支決算書に基づきまして、諸帳簿、証拠書類等</p>

監査していただき、ご承認をいただいたものがお手元の資料の決算報告書でございます。

平成 26 年度中学校給食費会計 1 年間分の給食費の決算でございます。

収入の部、給食費でございます。給食費は、1 食 300 円で、生徒・教職員、試食会等の給食費でございます。年間の総額が 248,954,644 円でございます。次に、諸収入ですが、食中毒対策の関係で調理前の食材料と調理後の給食を-20℃以下で 2 週間保存するよう義務づけられております。この保存食代として 316,855 円が小平市から収入されております。

続きまして、前年度繰越金でございます。これは、平成 25 年度からの繰越金で 1,597,358 円を 26 年度当初予算に入れたものでございます。

最後に 4 の過年度分給食費の収入が、1,189,307 円でございます。平成 25 年度以前の給食費未納分が平成 26 年度に学校給食センターで催告等をしたことにより収入になったものでございます。

以上、収入の合計でございますが 248,954,644 円でございます。

次に同じく収入の部で、右の欄の未収入額についてご説明いたします。平成 26 年度に発生した給食費の未収入額は 1,181,242 円でございます。全体の収納率は 99.52%で、未納の件数は 33 件になります。未納の解消には各中学校で並々ならぬご努力をいただいておりますことも併せて報告をさせていただきます。この未納金につきましては、学校給食センターで 5 年間催告等を行ない未納を減らす努力をしております。

続きまして、支出の部でございます。

食材料費は食材料への支払にあてております。1 番目に、主食、牛乳、副食と明記されております。合計額が、245,713,945 円でございます。2 番として給食費還付金でございます。還付金は、主に、アレルギーを持つ生徒への還付によるもので、1,457,328 円でございます。3 番目は、ゆうちょ銀行手数料で 16,116 円でございます。

従いまして、支出合計が 247,187,389 円でございます。

	<p>以上が、平成 26 年度の収支決算でございます。収入支出差引額についてですが収入の合計から、支出の合計を引きますと 1,767,255 円 となります。これにつきましては、平成 27 年度へ繰越いたします。</p> <p>次に、基金についてでございます。物価調整基金として、2,002,381 円ございますが、平成 26 年度につきましては、基金を使用することなく運営ができました。</p> <p>最後に、この収支決算書につきまして、6 月 24 日の教育委員会で報告を行い、今後、各学校長への報告、保護者の方には 7 月の献立表の裏面に印刷いたしまして、ご報告させていただきます。また、学校給食センターのホームページにも掲載を予定しております。よろしくお願いいたします。以上でございます。</p> <hr/>
委員長	<p>平成 26 年度中学校給食費会計収支決算報告書につきまして、ご質問等ございますか。</p> <hr/>
委員長	<p>無いようですので、次の報告事項、②「平成 27 年度中学校給食実施計画について」の説明をお願いします。</p> <hr/>
所長	<p>引き続きまして、平成 27 年度中学校給食実施計画についてご説明いたします。この計画は、平成 26 年度第 3 回共同調理場運営委員会でご審議をいただき決定されたものでございます。</p> <p>それでは、特徴的な事項だけ説明させていただきます。</p> <p>1 の実施期間でございます。平成 27 年 4 月 8 日水曜日から平成 28 年 3 月 24 日木曜日までを予定してございます。</p> <p>2 の実施日及び年間標準給食回数ですが、あらかじめ、各中学校から年間給食予定表を提出していただきます。それに基づきまして学校給食センターで年間給食回数を決定いたしました。各学校における給食予定回数は資料の中段から次ページにかけての表をご覧ください。</p> <p>次に 5 の給食費についてですが、中学校給食は食数に応じて単価方式を採用してお</p>

り、本年度の単価は、前年度と同額の1食当たり300円で実施いたします。

(2)の給食費の徴収については、ゆうちょ銀行の口座振替で納入していただいております。引き落としは、例年、5月から2月までとなり、4月分、5月分については、ゆうちょ銀行での手続き期間を要する関係から、5月に2ヶ月分をまとめて引き落としをさせていただきます。なお、給食費は、月額5,600円を一律に納付いただき、2月時点で、給食回数に応じた金額を算定し、清算する形になります。2月はほとんどの学年が、5,600円以下の金額になると思います。また、3月の引き落としは、未納の方を対象に再度引き落としをさせていただきます。なお、1回10円の引き落とし手数料は、保護者の方の負担でお願いしております。

3ページ6の給食費会計ですが、会計は私会計として処理し、決算については、中学校長1名、保護者代表の方2名で監査をしていただき、その結果を教育委員会に報告しております。

7の献立の作成ですが、主だったものについて説明いたします。

(2)食物アレルギーの対応につきまして、アレルギーのある生徒に対して、アレルギー献立表を配付する他、医師の診断に基づいた飲用牛乳の不食者に対して給食費の一部を返金する等の対応を行っています。

(5)、野菜は地場野菜の導入も積極的に進めてまいります。また、野菜の他に、梨、ブルーベリーなど小平の特産品も使用するとともに、これらを使った加工品やメニューなども取り入れてまいりたいと考えております。

なお、地場産農産物の納入率は、平成26年度では購入金額ベースで23.8%でした。

(6)旬の食材をできるだけ使用し、時季に応じた行事食なども取り入れ、季節感のある献立を工夫します。

このように、安全な給食の提供と食育の推進に今後も力を注いでいきたいと考えております。

4ページ8の、衛生管理ですが、まずは、「食中毒は出さない」という考えの基に、薬剤師による調理場内の検査、保健所による衛生管理指導などにより衛生管理の

	<p>徹底を図り、安全な給食を提供していきたいと考えております。</p> <p>9の、食の安全及び食育についてです。</p> <p>給食食材の予定産地をホームページで公開や、食材の放射能検査、食育の推進について記載しております。</p> <p>(6)は、すでに実施している内容ですが、各学期ごとに1校を選定し、1週間残食調査を実施しております。調査によって、生徒の嗜好を把握するとともに、献立の作成や食育に活かしていきます。</p> <p>10のその他といたしまして配食数、給食費徴収のしくみなどを記載しております。説明は以上になります。</p> <hr/>
委員長	<p>説明のありました平成27年度中学校給食実施計画についてご質問等ございますか。</p> <hr/>
委員	<p>食物アレルギー対応方針とはどのようなものですか。また、小学校は除去食での対応を行っていたかと思いますが、中学校ではどのような対応になっていますか</p> <hr/>
学務課長	<p>平成26年3月において小・中学校における食物アレルギー対応方針を策定いたしました。以前よりアレルギーに対する対応が一部ですが統一されていない面がありました。そこで本日も委員としてご出席いただいております大場委員を始め小平市医師会等にご協力いただき策定したものです。</p> <p>第一に安全が最優先であるとして複雑な対応は行わないようにするという小・中学校で統一した方向性を定めています。</p> <p>その中で小学校は自校方式なので個別対応が可能な面がありますが、中学校は共同調理場方式で毎日4,500食を作っている点及び施設面の問題で除去食対応ができていない状況です。今後、建替えの際にはアレルギー対応に配慮した施設の設置も考えていかなければならないと思っておりますが、現在はアレルギーを持っている生徒には詳細な献立を配布し自己除去での対応をお願いしているところです。</p> <hr/>

委員	<p>アレルギー対応について自己除去での対応ということだが給食費についてはどうなるのか。</p> <hr/>
所長	<p>現在、飲用乳の不食については給食費の返金をしております。また、重篤なアレルギー等を理由にそもそも給食を全く食べない方からは給食費をいただかない手続きをしております。しかし、給食の一部を除去される方については給食費をお支払いいただいております。</p> <hr/>
委員	<p>確認ですが、自己除去というのは提供された給食の中から自分で除いて残りのものを食べるという理解でよろしいか。</p> <hr/>
所長	<p>アレルギーをお持ちの生徒には詳細な献立表を保護者及び学校に配布して情報共有しつつ自己除去での対応をお願いしている。予め詳細な献立表で食材を確認し自己除去後の給食を食べることとなります。</p> <hr/>
委員	<p>補足ですが自己除去でのアレルギー対応については最低限の対応として必要なものですが、文部科学省も不十分な対応であると通知しています。ただ、中学校給食では設備面の問題でそのような対応になっているのが実情です。</p> <p>今後、新しい施設に建替えた場合にはアレルギーに対応した設備になるかと思えますし、教育委員会の方々もアレルギー対応が十分でないことを認識したうえで現在の対応になっているところです。</p> <hr/>
委員長	<p>その他ご質問はありますか。</p> <p>無いようですので、③の「小平市立小・中学校の給食で使用する食材の放射性物質検査結果について」を説明してください。</p> <hr/>
所長	<p>お手元の資料、小平市立小・中学校の給食に使用する食材の放射性物質検査結果に</p>

	<p>ついてご覧いただきたいと思います。</p> <p>小平市では東日本大震災にともなう福島原子力発電所放射能漏れ事故以降、給食食材の安全性を確保するため、小学校は毎月の輪番制で、中学校は毎月5品目を選定し検査を実施しております。</p> <p>検査結果については、市及び学校給食センターのホームページに公開しております。中学校給食では、毎回牛乳は検査することとなっております。お手元の資料は4月及び5月分をお示ししております。結果については、いずれも不検出となっております。</p>
委員長	<p>小平市立小・中学校の給食で使用する食材の放射性物質検査結果について何か質問ご意見はありますか。</p> <p>無いようでしたら、その他といたしまして、「学校給食センター施設について」を事務局よりご説明願います。</p>
所長	<p>給食センターの施設の今後の動きについて、説明させていただきます。</p> <p>学校給食センターは、昭和57年に開設され、今年で33年を経過いたします。建物は、給食を調理する施設として、床下に蒸気管が配管され、調理場内には大型の調理機器や洗浄室での大型洗浄機、また、食器を乾燥、保管するための蒸気による熱風消毒保管庫など様々な付帯設備もあり、厳しい使用環境の中、目標耐用年数も25年となっております。</p> <p>また、中にある調理機器も一定期間に交換や更新は行っておりますが、老朽化が進んでいる状況にあります。</p> <p>このような状況の中で、学校給食センターの施設更新について、PFI手法を用いた民間活力の可能性調査を平成26年度において実施いたしました。</p> <p>PFI (Private Finance Initiative) とは、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・官民協働により効率的、効果的な公共サービスの提供を図る手法で、民間の資金、経営能力、ノウハウを活用し公共施設の設計、建設、維持管理、運営を行うもの

	<p>です。</p> <p>この手法は、・設計、建設、維持管理、運営の全てを担当する事業会社が一貫して担当することにより、コストメリットが生まれるほか、市が直接行うリスクの回避、費用の平準化が期待できる特徴があります。</p> <p>P F Iによる公共施設整備は、全国で400以上の事例があり、うち教育・文化施設が1/3を占めます。また、学校給食センターについては、全国で約40の事例があり、近隣では立川市がP F Iによる管理運営を行っております。</p> <p>なお、市と民間事業者の役割分担ですが、現在の給食センターの場合と変わらず、献立作成、食材の調達及び検収という給食運営の根幹部分は市が担い、調理及び配送、施設管理等についてはP F Iの事業会社が担うこととなります。</p> <p>今後、今回の調査結果を踏まえ、P F I方式の導入の可否や更新時期等について、検討してまいります。</p> <p>このことにつきましては、今後の運営委員会で報告させていただくよう考えております。</p>
委員長	<hr/> <p>学校給食センター施設についての説明がありました。説明の内容について、何かご質問やご意見はありますか。</p>
委員	<hr/> <p>建替えの時期はいつ頃になりますか。</p>
所長	<p>25年の耐用年数については超えており建替え時期としては早急に行うべきではあるのですが、用地を選定中のため建替え時期は未定の状況です。今後はアレルギー対応を踏まえた設備を有する施設についても検討するため、現状の敷地より広い一定規模の敷地面積が必要となります。市内にそのような広い敷地は少ないのが現状です。</p>
学務課長	<hr/> <p>補足ですが、先ほど説明したP F I方式を仮に今年度で導入した場合に用地等が順調に決定した場合、最短で建替えができる時期としては平成31年度となります。</p>

委員	<hr/> <p>最近、テレビ等で異物混入のニュースが報道されている。原因究明等まで報道されていない感じがする。小平市でもPFI方式等で民間業者の関わりが大きくなり責任の所在が薄れ異物混入の事案が増加するのではという懸念がある。</p> <p>子どもたちが安心して食べられる給食になるよう体制づくりをお願いしたい。</p> <hr/>
委員長	<p>人間が行うことなので異物混入は100%防げないかもしれないが実際に起きた場合のフォローの体制や異物混入を防いでいこうとする姿勢は重要である。</p> <hr/>
委員	<p>調理員が30名ということだが人数が少ないのでは。人数が多ければ手間暇を掛けたおいしい給食ができるし、衛生管理の面でも人数が少ないと多忙を理由に疎かにならないか。</p> <hr/>
所長	<p>調理員の人数について委託契約のため指定はできないが、日々の献立作成において学校給食センターの栄養士と調理員とで現状の人員で調理可能な献立や調理手順等の詳細な調整を行っております。</p> <hr/>
委員	<p>食べるのが大好きで自分が子どもの頃は給食が毎日楽しみだった。そのような子どももいるので、素晴らしい給食を作るため頑張ってください。</p> <hr/>
委員長	<p>その他ご質問はありますか。</p> <p>無いようでしたら、最後に、学務課長お願いします。</p> <hr/>
学務課長	<p>本日は貴重なご意見等いただきありがとうございました。初めに委員長より小平市の給食はおいしいとのお言葉をいただきました。私ども学校給食センターに関わる職員の励みの言葉とさせていただきまして今後もおいしい給食づくりに努めてまいります。また、副委員長を始め各委員も皆様からも子どもたちにとっていかに給食が重要</p>

委員長	<p>であるかというご意見をいただきました。実際の給食に活かしていきたいと思 います。本日はお忙しい中どうもありがとうございました。</p> <hr/> <p>平成27年度第1回小平市立学校給食共同調理場運営委員会を終了いたします。ご 協力ありがとうございました。</p>
-----	--